

Thai Union Group がレッドロブスター売却方針を発表 — 今後の財務内容への影響を確認

以下は、Thai Union Group Public Company Limited がレッドロブスター売却方針を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は、コアビジネスに集中するため、1月16日に外食事業を営むレッドロブスター（16年出資）を売却する方針を発表した。これに伴い、投資簿価約185億タイバーツ（約760億円）全額の減損損失を23/12期に計上する予定である。
- (2) 今般計上した減損損失の金額は、23/12期第3四半期末の純資産額826億タイバーツの約22.4%に相当する。23/12期第3四半期末の自己資本比率（劣後債の資本性50%考慮後）は39.5%であったが、悪化が想定される。一方、レッドロブスターは、コロナ禍やインフレの影響を受け業績が長期間低迷している。売却によりこうしたマイナスの影響は当社業績から切り離される。JCRは22年12月に財務改善を評価して見通しをポジティブとしている。今般の売却プロセスを通じた財務構成の変化と今後の財務方針及び業績の改善度合いを確認していく。

（担当）杉浦 輝一・井上 肇・岩崎 晋也・三浦 麻理子・石崎 美瑛

【参考】

発行体：Thai Union Group Public Company Limited
外貨建長期発行体格付：A- 見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル